

聖堂改築及び信徒会館建設

カトリック糸島教会建設委員会

■建設の必要性

私たちの糸島教会は現在の聖堂の形に至るまでおよそ20年の歳月が経過しております。当初、西新教会からの分離準小教区として立ち上げられ、当時の信徒の数は190名程度の本当に小さな教会からスタートしています。当時の立ち上げ時代の信徒の皆様のご苦勞が今日の糸島教会の礎を築いていると思います。20年前に建設された聖堂は、信徒会館に少し手を加えただけの粗末な聖堂でした。それから14年が経ち今から6年前に前主任司祭である櫻井神父様による聖堂改築作業が行われました。その当時も「最低限の聖堂の機能を」として改築が行われ、半聖堂、半信徒会館的な造りが現在の糸島教会となっているのです。

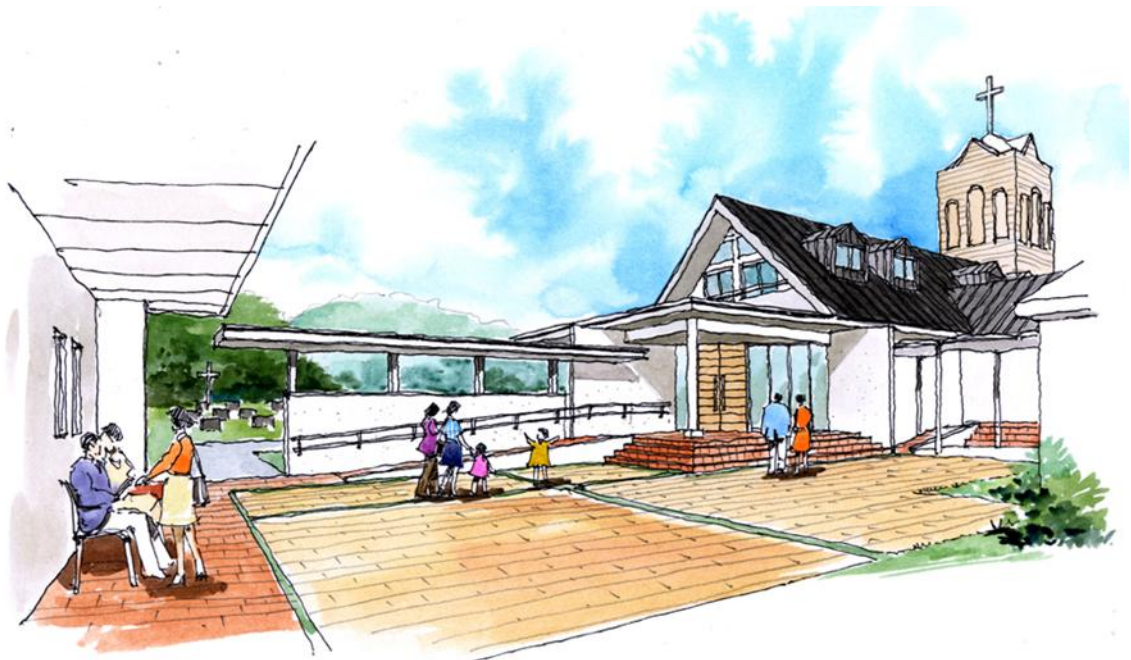
故平田司教様からのご遺言にも「糸島教会聖堂の建築を」と残されているとおり、私たち糸島教会信徒全員による後世への信仰の証を残すためにも、現在の聖堂兼信徒会館を分離させ、本当の意味での「祈りの場」を造らなければと考えております。

故平田司教様、櫻井神父様、竹内神父様と主任司祭を3代に亘ってお迎えする事が出来ている幸いを噛み締めながら、信徒の皆様の聖堂改築及び信徒会館建設に対するご協力とご理解を頂きたくお願いを申し上げます。



■教会建設のビジョン(どんな聖堂改築と信徒会館を建てるのか?)

1. 多様な人々に開かれた教会
 - (ア)赤ちゃんからお年寄りまで参加しやすい教会 (泣き部屋)
 - (イ)体の不自由な人が参加しやすい教会 (体の不自由な人に配慮した設計)
 - (ウ)若者 (留学生など) が参加しやすい教会
 - (エ)冠婚葬祭に対応できる教会
2. 地域に開かれた教会
 - (ア)近隣住民に親しまれる教会 (街の目印として親しまれる教会)
 - (イ)地域コミュニティーに親しまれる教会 (地域の交流のセンターとして)
3. 未来に開かれた教会
 - (ア)未来の構成メンバーに使いやすい教会 (信者数の増加などに配慮)
 - (イ)50年後も十分に使用に耐える教会 (できるだけ長く使用できる設計)



■日程(進め方)

- ①マリア会のアンケート調査（信徒会館の予算算出根拠として）
- ②信徒会館と聖堂改築の予算確定
- ③聖家族向けのアンケート作成と配布
- ④アンケート集計
- ⑤第2回、信徒向けの説明会開催（集計結果と方針について）
- ⑥建築方針確定
- ⑦福岡教区への説明（増改築の説明と予算計画について）
- ⑧信徒総会での承認
- ⑨設計提案依頼書作成（概略予算、要望、理念等）
- ⑩数社に設計提案依頼（アイデアコンペプロポーザル方式（人選を主眼とした必要最小限のアイデア提出、面接方式））
- ⑪設計者決定（予算を含め、要望の見直しを踏まえた基本設計、この時点で本格的なコスト調整を踏まえた要望確定を行う）
- ⑫第3回、信徒向けの説明会開催（設計者による基本設計説明）
- ⑬実施設計
- ⑭建設会社(工務店など)数社への見積依頼（指名競争見積）
 - ・信徒関係者を含め公平に、どこにでも見積もり依頼ができる
 - ・競争見積もりなので、コスト削減が見込める
 - ・予算は建設委員等主要メンバー以外には他言しない
- ⑮建設会社決定（2012年04月22日、信徒総会）
- ⑯信徒会館工事、完成（2012年09月20日、竣工予定）
- ⑰聖堂改築工事、完成（2012年12月20日、竣工予定）



